

「第3回市民活動団体交流会」

まとめ

月 日 8月29日(土)13時30分～16時20分

場 所 市民活動支援センター2階講堂

交流会進行状況

第3回は、地域でまちづくりを行っている団体に呼び掛けて意見交換会を開催した。参加者は、団体19、個人参加者1名を含め、総数33名(M20名、W13名)支援センターより9名参加。

白井所長より、開会の挨拶、本会の目指すことなどについて述べる。(別紙1の通り)、司会伊勢田より本日のスケジュールなどを説明。

席は、あらかじめ指定した席に3グループに分かれて着席。

団体紹介は、申し込み順で、1団体3～5分間、PC・プロジェクターを使用して順次説明。1時間の予定であったが、大幅に時間超過で、1時間40分かかった。5分休憩の後、グループワークを行った。まず、グループ毎の参加者自己紹介の後、テーマは前回同様で、「各団体で満足していること、困っていること、また困っていることへのアドバイス、一緒に出来ることなど」について意見交換を行った。

(別紙2,3,4報告書の通り)

各グループのファシリテーター役として、支援センター中西、木下、武市が担当、最後のグループワークのまとめ、発表役は、

①未来プランナー米田、②木下、③武市。

進行役の感想

1) 今回は、「ちみんのちから」で地域まちづくり登録の関係団体、並びに第1～2回に参加された団体にも案内をした。その結果、33名という多人数の参加を得られた。

テーマ別の集会であれば、お互い理解しやすく、協働の呼びかけをし易いことから、多くの参加者が集まったのではないかと考えている。

今後も、福祉、教育、再度環境などのテーマで交流会を開催する予定。

2) 前回は会合でも失敗したが、今回も団体紹介に時間を割きすぎて、グループワークが十分に出来なかった。団体紹介のあり方を考え直し、団体ごとに説明は、出来るだけ少なく、1～2分程度にする。

団体紹介の説明は、12時に開場して、1時間30分程度、集会前にパネル展示をいていただき、交流会の前に終わるものとする。

第4回交流会で結果を出すよう今後検討を進める。

- 3) グループワークの時間が少なく、情報交換、意見交換など十分には出来なかった。
- 4) 未来プランナー6名(学生)が、各グループに2名ずつ加わり、交流会が活性化した。さらに、アトピーサークル SmileSmile も参加して参加者平均年齢が大幅に引き下げられた。
- 時間に余裕があれば、若い人たちの「大阪狭山市の将来についての考え」を聞いてみたかったのに残念。
- 別紙5の通り

アンケートとりまとめは、後日送付予定

以上